

自然保育「ネイチャーウォーク」

秋の森であそぼう

晝間 初枝（四街道市）

日 時：2024 年 10 月 3 日（木） 9:30～11:00、天候：曇り

場 所：八千代台北こどもの森

参加者：ChaCha Children Yachiyo 5 歳児 26 名 保育士 4 名

担当指導員：小川 渡辺幸 晝間

雨上がりの朝、青空が見え始めたと思ったらどんよりした曇り空に、不安がよぎるものの子どもたちが楽しみにしていることから、予定通り森で実施することになりました。

秋と言っても 10 月初旬、今年は猛暑が長く続いたこともあり、一気に秋が深まるという感じではありませんが、それでもクヌギやコナラ、ヤマグリの実が落ち、僅かに黄色く色づいたエノキ、サクラ、色鮮やかなカキの葉など秋の森遊びには十分でした。

初めは「秋の森の宝さがし」。宝物のリストは、「黄色い葉っぱ」「木の実」など 7 つ、公園を一巡してそれらを見つける遊びです。クリの木の下でヤマグリの実としいなを見つけ、とげとげしたイガは気をつけながら袋の中へ…。モコモコしたクマシデの実、ムクゲのピンクの花はお気に入りの宝物のよう。近くで見つけた小さなピンクの花びらはサクラの花。「どの木の落とし物かな」と見上げるとちらほらサクラが咲いていました。下見では目に留まらなかったことから足元の小さなものを上手に見つける子どもの感性に感心しました。丸いドングリ、細長いドングリ、色とりどりの葉っぱでいつのまにか袋の中はいっぱいになりました。拾い集めたものを容器に詰めるとすてきな秋の宝箱が出来上がりました。お気に入りの見せたり、比べたりした後は、大切に持ち帰ることになりました。

次は、森の動物の冬支度「ドングリかくし」。冬に備えて、秋のうちに隠しておいたドングリを見つける遊びです。隠すものはドングリに見立てたマツボックリ。クマ・リス・アカネズミになって、マツボックリ隠しスタート！木の根元や窪み、落ち葉で隠したり、地面を掘って埋めたり、マツボックリ隠しはとても楽しそう。フリータイム、続いてマツボックリ体操をしているうちに、秋から冬へ…。いよいよ隠したマツボックリを探しに行くことになりました。子どもたちは待ちきれず、すぐにでも走り出しそうな勢い「見つけたものはみんな自分のもの、マツボックリを探しに行こう！」のかけ声で森の中へ一斉に散っていききました。各グループ 50 個ずつ隠しましたが全部見つけられなかったことから、「森に残った木の実はどうなるのかな」と投げかけました。「ほかの動物が食べる。ダメになる。芽が出てくる…」そこで芽が出たドングリの木がやがて大きな木になり、またドングリをつけて落とすことを話し、森の循環に少し触れました。

最後に子どもたちから一斉に「楽しかった」という声が上がりました。特にマツボックリを隠したり、見つけたりする活動は、ワクワク感があり大いに盛り上がりました。次回 1 月、また一緒に遊ぶことを約束して、子どもたちを見送りました。



「どんぐり見つけ」宝物探し



すてきな宝箱が出来上がり



マツボックリ体操